

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314



立教 181年
1月号

立教百八十一年

明けましておめでとございます

昨年は教祖百四十年祭に向かって歩み出しの年として、道を真摯に歩む人材の育成を合い言葉に成人の歩みを進めさせて頂きました。本部で開催の後継者講習会への参加呼びかけや、育成の為の講習会等の開催、又育成する側の成人を目指しての別席ひのきしん団参加には700名を越える参加者の御守護を頂戴するなど、本当に結構に恙なくお連れ通り頂きました。これも皆様方の親孝心一筋の伏せ込み理作りの賜と御礼申し上げます。

さて今年も二年目、歩み始めた成人への第一歩をより力強いものにして行くためには二歩三歩と歩を進めて行かなければなりません。年頭に当たり真柱様は「私達の目標をお互いしっかりと確かめて、本年の活動を進めて行って頂きたい」と仰いました。私達の目標とは陽気ぐらしの実現であります。その為には気の遠くなるような年月が必要と思われ、この先何度も生まれ替わ

りを経なければならぬのかも知れません。だからこそ一年一年その事を確かめながら成人の歩みを進めて行く必要があり、確かめるために心定めをしているのであります。笠岡の実力は皆が思っている以上にあります。今年一年心定め以上の御守護を頂けるようおたすけに励み、人材の育成に励みましょう。

どうぞ今年一年もよろしくお願い致します。

笠岡大教会長

上原理一

布教部

昨年は、次なる成人の塚を目指しての踏み出しの年として、特に道の将来を担う人材の育成に重点を置いて勤めさせて頂いた一年でありました。しかし、道の子弟育成は、一年間だけの一過性のものでなく、十年先、またそ

の先を見据え、継続性をもって取り組みなければならぬ、最重要課題でもあります。

真柱様は

「私たちが目指す陽気ぐらしは、ようばく一人ひとりが親神様・教祖のお心に添って、一歩ずつ歩みを進めるなかで、だんだんとその輪が広がっていくものだと思えます。

先ずは家族をはじめ、身の周りの人たちにしっかりと信仰を伝え、互いにたすけ合う生き方を実践し、土地所に映していきたく存じます。」

と、お示し頂いています。まずは、私たちの日々の陽気ぐらしの実践こそが、子弟育成へと繋がり、土地所の陽気ぐらしの道場としての教会の有りように繋がっていくと思えます。

そうした点を踏まえて本年は、それぞれの教会が地域にとって無くてはならない教会となるよう、またそうした教会を目指して活動を進めたいと思えます。

特に、例年九月のいをいかけ強調月間は、直属としての取り組みは少なかつたように思います。本年より本部では、全教一斉にいをいかけデーの三日間以外の強調月間は、積極的に直属で

の活動の推進をお打ち出し下さいました。

笠岡大教会としての取り組みが、人材の育成にも繋がる活動となるよう、内容を模索し推進していきたく思っております。

本年も布教部一同が笠岡の旗振り役として、活動の推進力となるよう努めさせて頂きたいと思えますので、活動の上にご協力をお願い致します。本年もよろしくお願い致します。

◎年間行事

1. 立教181年 教会長講習会

テーマ

「地域社会に於ける

教会の在り方」

～私達にできるにいがけ～

おたすけを考える

日時

2月26日 13時30分 受付

27日 14時00分 開講式

27日 12時30分 閉講式

講義

①「地域に根ざした

教会活動(仮称)」

講師・高瀬 徹氏

小南部部属 法奥金澤分教会長

② 「地域と教会を繋ぐ」

おたすけを考える(仮称)

講師・瀬藤友昭氏

大恵山分教会長

③ 「現代社会の諸問題への

アプローチ」(分科会形式)

テーマ① 高齢者支援

「認知症への関わり方」

テーマ② カウンセリング

「聴くことの大切さ」

右記のテーマ①・②どちらかを受講して頂きます。

・26日は夕食を兼ねた情報交換を予定しています。

対象 教会長

受講お供 3,000円

(受付で納めて下さい)

※身上等でやむを得ず欠席の場合は、その理由を必ず大教会長様に連絡して頂くようお願い致します。

●教会長以外で各講義の聴講を希望する方は、自由に聴講して頂いて結構です。

2. 別席・ひのきしん団参

日時 11月25日(日)

別席ひのきしん団参を実施して

十数年が経過します。帰参者の増員はもちろんですが、本年は特に

初帰参者・別席者の増員に力を入れて取り組みたいと思います。初

席者、中席者のご守護が頂けるよう、各教会で声掛け、働きかけをお願いします。

3. 立教181年全教一斉ひのきしんデー

期 日 4月29日(日・祝)

※参加への呼びかけを(特に、教会と離れた地域に住まうよふぼくへも、所属教会から積極的な声掛けをお願いします。)

4. 布教推進講習会

期 日 8月21日(火)

大教会祭典後

5. 立教181年全教一斉にいがけデー

・9月28日(金)

全教会長路傍講演の日

・9月29日(土)・30日(日)

全よふぼく実動日

※9月は布教強調の月です。総ての教会で活動を進めることが出来るよう計画致します。

海外部

海外部の動きは海外移住者・海外の現地人用木・信者へ、教内の動き・笠岡の動きを伝える文書伝道を通じて行く事と、帰参される方々のお世話取りとお手伝いを理の方々とさせて頂く事。来日される外国の人達への布教活動・日本での海外伝道の意識を持った人材を育てていくことにあると思います。

例年の英語講習会、11月の月次祭典典講話に代えての海外伝道講習会、また広島平和公園での外国語パンフレット配布などの行事も、未来に繋がる海外伝道の意識を高めるものであります。一昨年から始まった文化活動・英語クラブも二月で三年目に突入し、その意識を高めて行く人材育成が出来ればと思います。そして、今年もタンザニアの国へのおたすけ活動も10年目を迎えます。将来現地の人達が中心となつてつとめ・さづけ・教えを通して喜びを共有できる場を持てる事を目標に展望を持って動かさせて頂きます。今年も、海外布教を基盤として信仰を深めるアプローチを続けていきたいと思ひます。

年間行事

1. 英文パンフレットを配布(3月と11月に広島島の観光地へ行きます)

…海外伝道に携わらせて頂く理作りをさせて頂こうと思うものです。

2. タンザニアおたすけ訪問(今年の日程はまだ未定ですが、約二週間の予定です)

3. 英語講習会(8月7、8日に開催)

…昭和43年に始まったこの講習会は今年で72回目を数えます。毎年海外のネイティブスピーカーをゲストとしてお呼びし、参加者と直接話したり、海外の思いを聞かせて貰います。

4. 海外伝道講習会

(11月21日の月次祭に合わせて) …外部講師をお呼びし、海外伝道に携わる話を聞かせて頂き、日々の信仰生活のヒントにして頂きたいと思ひます。

5. タンザニア孤児支援バザー桜祭り

(於…大教会) 開催【4月8日(日)】

6. 英語クラブ(月一回毎月22日夜7時から開催しています)

…海外布教の一助になればと思ひます。

管理部

大教会では四年後に創立百三十周年を迎える時期に来ております。管理部の活動は人の心の様に一度に綺麗になるものではなく、日々の手入れが必要になってまいります。一人ひとりの伏せ込みひのきしんによってお帰り下さる信者さん方の心が明るく勇める様な管理態勢を築いてゆきたいと思っておりますので、大教会・詰所の上に皆様方のご協力を賜ります様何卒よろしくお願い致します。

- 夏季 草刈り・剪定
- 10月 集中剪定
- 11月 障子張替え
- 12月22日 年末大掃除

育成掛

ようぼく勉強会(平成30年)

2月 テーマ 信者子弟の育成 講師(敬称略) 三代 幸

4月 東ブロック

6月 福山ブロック

7月 高屋ブロック

8月 島根ブロック

9月

西ブロック
上下・府中市ブロック

婦人会

創立110周年を前に支部御臨席総会を發表致しました。目的は親の理を頂いて一人一人が成人を目指すことです。をやかに喜んで頂ける道を一人一人が心定めさせて頂き、それぞれ精一杯の自分のできるおたすけの姿をもつてつとめさせて頂き、喜びの総会を迎えたいと思えます。

神様を身近に感じ、信仰の有難さを身に味わわせて頂きましょう。巡回を通し全委員部からの参加心定めは1366名となりました。真実の伏せ込みをさせて頂き、ふさわしい結果のご守護を頂戴させて頂きましょう。

《成人目標》
ひながたをたどり
陽気ぐらしの台となりましょう

《活動方針》

「ご恩報じを念じ
実のようぼくに育つ」
一、教えを学び身につける
一、身近な人を実のようぼくに育てる

一、百万会員を目指して
にをいがけ・おたすけに励む

支部婦人会御臨席総会

立教182年6月23日(日) 午前10時
おつとめ、式典、アトラクション
ご恩報じの日々の理
『今日一日の感謝』
会員千人の参加

本年もよろしくお願い致します。

婦人会笠岡支部

立教181年 婦人会行事予定

▼1月28日 創立記念の日
各委員部で改めて婦人会創立の
思いを会員の皆様と振り返る機会
にして下さい。

▼2月21日・22日
委員・直轄委員長研修会
本年の動きについて相談させて頂
きます。

▼4月19日 婦人会第100回総会
午前9時半 本部中庭 式典
式典終了後 全参加者のおつとめ
その後 支部行事(てをどりまな
びの予定)
全委員長部の参加、全委員部か

らの参加をお願いします(できれ
ば前晚にささやかでも帰参の集い
をできればと考えています)

▼5月25日 立教181年委員長講習会
午前10時 受付
10時半 開講 約3時間半
その後 全員で神殿参拝・回
廊ひのきしん

創立110周年に向かい確実な歩み
をさせて頂くために、全委員長
さんの参加をお願いします。

▼6月 こかん様に続く会

▼9月23日 委員長部長後継者講習会
(詳細は後日)

▼11月 こかん様に続く会

▼立教182年11月3日(日・祝)
第29回女子青年大会
おちば開催のご発表がありまし
た。
テーマ「広げよう信仰の喜びを」
——友だちを誘って
おちばへ帰ろう——
次代を担う女子青年をしつかり
育てさせて頂きましょう。

青年会

新年あけまして

おめでとうございます。

昨年は、青年会活動の上に多大なるお力添えを賜り、誠にありがとうございます。本年もより一層のお力添えを賜りますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、今年はいよいよ天理教青年会の創立百周年の年になります。青年会本部の掲げるスローガン「心を動かせ 世界を拓け」のスローガンの下、10月28日の創立百周年記念総会を目指して、活動を推し進めて行きたいと思ひます。この旬に一人でも多くの笠岡に繋がる青年会員に声をかけ、百周年活動を実践してもらい、これからの信仰生活の勇みの種となる青年会活動になるよう取り組ませていただきます。また、今年も6月におやさとふしん青年会ひのきしん隊に入隊いたしますが、今年も6月15日～17日の三日間だけのひのきしん隊入隊日が設けられています。普段一ヶ月では長すぎて参加できないという会員の方に入隊していただけるまたとない機会ですので、一人でも多くの方のご参加をお願いいた

します。

◆本年の分会活動

- ・あらかととりよう入門塾…5月27日
- ・おやさとふしん青年会ひのきしん隊
- …6月1日～24日
- ・三日隊…6月15日～17日
- ・ひのきしん団参…7月1日
- ・父親講座…日付未定
- ・第94回天理教青年会
- ・創立百周年記念総会…10月28日
- ・有志ひのきしん隊…毎月(随時)
- ・あらかととりよう一斉にをいがけデー…毎月第二日曜日(変更有)

少年会

次なる成人の塚目指して、私たちはこれからの道を担うべき後継者を育てることにこれまで以上に力を入れて取り組むことを申し合わせています。その道の後継者の中でも、一番年齢が低いところにある子供の育成を受け持っているのが少年会であります。少年会の目的は、子供たちに信仰的な物事の考え方を教えて身に付くように、年齢に応じて育て、将来立派なようばくに育つための基礎をつくっていくことにあります。

育成する私達が、真実の心で子供たちと向き合い、子供たちが信仰的な考

え方ができるような人になれるよう信仰の芽を大事に育てていきたいと思ひます。今年も少年会の活動の上にひいては道の後継者育成の上に、ご尽力の程よろしく願ひ致します。

◎立教181年 年間行事◎

- ・おつとめ総会 4月1日
- ・鼓笛合宿 3月30日～4月1日
- ・縦の伝道講習会 5月21日
- ・てっちゃんと遊ぼう(わかぎのつどい) 5月27日
- ・サマーキャンプ 8月21日～23日
- ・てっちゃんシアター(親子参拝推進) 1・3・4・7・8・10月の21日 月次祭後

学生担当委員会

立教181年 学生担当委員会

学生会 年間行事

- ☆春の学生おちばがえり 3月28日
- ☆おちば管内 学生の集い 4月22日(日)
- ☆学生層育成者講習会 2月21日
- ☆学生生徒修養会

大学部

- 高校卒業生コース 3月3日～9日
- 3月10日～12日
- 高校部 8月9日～15日
- ☆おせち学生ひのきしん隊 1月4日～7日

雅鶯会

◆雅楽勉強会

- ・とき 3月4日(日)午前9時
- ・対象 受付、9時半 開講式・講習～午後3時半 閉講 大教会
- ・ところ 初心者・初級者(少年会員、大人)

◆雅楽講習会

- ・とき 8月30日(木)・31日(金)
- ・ところ 福山ふれあいランド
- ・対象 雅鶯会員、平調が吹ける大人



よふぼく勉強会開催
 テーマは「後継者講習会に
 参加して」

12月月次祭後

育成部

育成掛(中島誠治主任)は12月21日、
 祭典終了後、会議室で「後継者講習会
 に参加して」をテーマに「よふぼく勉
 強会」を開催し多数が受講した。講師
 の上原理子さん(直轄)、中村剛史さん
 (久松分教会長)は受講して感じたこ
 と、またこれからの自身の通り方を話
 された。

上原理子さんは「参加理由は信仰熱
 心な両親の勧め、また周りの方達に親
 の言うことは素直に聞くべきと教えら
 れて参加を決めた。参加者の多数も親



上原理子さんの講話



久松分教会長 中村剛史さんの講話

に勧められての参加だった。講習内容
 は大介様のお話し、クラスミーティン
 グ、講師の先生の『陽気ぐらし』につ
 いてのお話し。あまり天理教用語を使
 わず分かりやすく、聞きやすく話され

た。終わりに真柱様のお言葉をいた
 き大変有難かった。有意義に楽しく、
 充実した三日間であったと話された。
 中村剛史さんは教会長の立場として
 受講し「教会につながる受講資格のあ

る人に受講して頂きたいとの思いから
 参加。クラスミーティングは20代前半・
 後半、30代前半・後半と年齢の近い人
 たちに分かれて行われた。参加者同志
 話しやすく打ち解けられた。10年前に
 も後継者講習会を受講したが、その時
 は20代・30代まとめてのもので、今回
 の方が年齢が近く緊張なく話し合いが
 出来た。講話の先生も分かりやすく受
 講者が和気藹々となるよう心配られて
 いると感じられた。『陽気ぐらし』の
 内容は、親孝行、夫婦の話し。これか
 らも講習会は続くので、参加を促す側
 として今回の自身の受講は大変有意義
 だった。内容も心配りがされていて受
 けやすく、大変に有難く感じられた。
 おちばの声を素直に聞いて参加して良
 かった」と話された。

年末大掃除

管理部

管理部(虫明立生部長)は12月22日、
 大教会年末大掃除を行い、大教会長様
 ご夫妻をはじめ役員、婦人会、青年会、
 信者ら約80人が参加した。
 午前8時過ぎから大掃除の準備が進

められ、集合時間の
 午前9時、大教会長
 様のお手に合わせて
 三殿礼拝を行い、そ
 れぞれに分かれて開
 始した。男性は大教
 会長様・明勇先生を先
 頭に白衣を着用、結
 界内の神床から上段・



高所作業は慎重に

中段の順に御簾、欄間の埃を払い、水拭き・空拭きと各々分担して仕上げにいった。

また婦人会を中心によぶく、信者の方々は、神殿内で行う雑巾の準備や神殿周りの窓拭き、信者室、トイレ掃除など隅々に至るまできめ細かい作業をされ、また食堂では昼食のカレーの準備をして頂いた。午前10時、神殿横と講堂に分かれて休憩を取り、昼食を済ませた後、それぞれに解散した。

午後からは大教会長様も参加され有志数人で講堂・図書室南側の窓拭きを15尺の三脚を使って行った。またそれと並行して、海松ヶ岡分教会長を中心の有志数名で正月飾りの門柱脇に据える門松の竹取りと、翌日取り付けるための準備をした。

年末のお忙しい中を、大教会の大掃除ひのきしんにご参加頂きました皆様には、誠に有難うございました。

(管理部部長 虫明 立生)

恒例の餅つき賑やかに

12・27 詰所

12月27日、恒例の本部元旦祭へ御供

えさせて頂く鏡餅つきひのきしんが詰所で午前8時より行われた。少年会員を多数含む約30人がひのきしんに精を出した。

また大教会長様が小餅作りに、大教会の奥様が昼食作りに参加された。

ひのきしんは午前10時半頃終了。昼食にはつきたてのきなこ餅と、大教会の奥様と婦人会員の方々が握られた、様々な具材の入ったおにぎ

りや、味噌汁が振舞われ、一同そのおいしさに舌鼓を打った。終始賑やかで活気のあるひのきしんとなった。

合計、一石三斗七升の餅をつき、その中、五升餅27枚を本部元旦祭へ御供えさせて頂いた。



準備から片付けまで、老若男女、手分けして

隅々までキレイに

修養科生の声



3ヶ月の修養科を

終えて

府中市分教会 坂井幸生

自分が3ヶ月の修養科で思ったこと、修養科が始まるまでが大変だったこと、一日中ひのきしんの毎日でした。修養科が始まると、最初は友達を作ることが出来るか不安でした。でも、クラスの雰囲気良かったおかげで友達が多く出来ました。一緒に長期ひのきしんをやった人とも、仲良くなりました。この時期に来て良かったと思いました。自分は、修養科の授業で特に関わりあいの時間が好きではなかったです。感話の授業は、自分の経験談や修養科生活についての話しをする時間で、自分は何を話そうか前日まで悩みましたが、話しをしたら、心がすっきりした気持ちになりました。

修養科に来て、変わることが出来たこと、それは人と話すことが多くなったことです。来る前は、人と話すこと

が苦手でした。自分自身変わることが出来たことです。今まで、消極的だった自分が積極的に取り組むようになりました。3ヶ月の修養科は、最初は長いと感じましたが、最後の1ヶ月は短いと思いました。

修養科で学んだこと

吉舎分教会 西村美乃

修養科は両親の勧めで来させて頂きました。初めは少しでも、「てをどりをきつちりと学ぶため」「鳴物を学ぶため」「笠岡への御礼をする」というのが目的でした。しかし、笠岡の皆、クラスの皆の素直で真っ直ぐな心に触れ、お話を聞かせて頂く中で、心の成人のためにここに来たんだということに気づきました。また先生方から、自分でここへ来たのではなく、お引き寄せ頂いて集まったのだと聞かせて頂きました。

私にとつて、何気なく今まで過ごしてきた日々をしっかりと振り返る大切な時間となりました。詰所で修養科で「少しでも人のためにと動く。周りの皆さんの心配りや気遣い、声かけはとも温かく、学ばせて頂くことばか

りでした。「これが親心か」と胸が熱くなり、嬉しくて涙することもありました。いかに今まで自分のことばかり考えてきたのかと気付かされました。

修養科を出てからは、教わった「人のたすかりを願う気持ち」を持ち、頂いた言葉や皆のことを思い出し、少しの勇気を持つて勇んで通りたいと思います。ありがとうございました。

修養科での3ヶ月を

振り返ってみて

三郡分教会 谷本洋一

修養科に入り3ヶ月を振り返ってみると、初めの1ヶ月目を迎えるのは本当に長く、覚えることや学ぶことも多くあり本当に3ヶ月の修養科生活を楽しみ切れるのかなと思ひ、辛い1ヶ月間を迎えていましたが、2ヶ月目に入り少しずつ修養科のことも分り始め、同じ笠岡の修養科生の仲間と修養科生1組の仲間とも少しずつ話もできるようになり、修養科での学びやひのきしん、詰所での修練を行っていくにつれて、日々、一日一日が早く過ぎて行き、気付けば最後の1ヶ月を迎えると更に一日が経つのが早く感じ、3ヶ月目も

終わろうとしてしまいました。

またこの修養科で教理を含め、てをどりを学べたことが良かったです。この3ヶ月間で些細なことが神様のご守護に思えるようになって、例えば「今のありがたい場面が神様のご守護を頂けていたのではないのかな？」と思えるようになりました。また修養科中に別席を運びよふぼくになり、おさづけを頂けたことも良かったです。よふぼくに晴れてなることができたので、今後は身上の方におさづけの取り次ぎを行わせて頂き、言い方はよろしくないのでありますが、一人でも多くの方におさづけを行っていきたいと思っています。また修養科を修了した後は、自教会の月次祭にできるだけだけつとめていきたいと思っています。

この修養科3ヶ月間は楽しいことや辛いことも沢山有りましたが修養科に来て本当に良かったと思っています。最後になります。教養の先生方、同じ笠岡の修養科生の皆様、98期の組担任・副担任の先生、クラスの皆様、本当に楽しい修養科生活を送らせて頂きありがとうございました。これで「修養科での3ヶ月を振り返ってみて」を終らせて頂きます。

立教百八十年 十二月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	おつとめ				てをどり	地方			役割区分	講話	祭主		
									上	上	大	大		虫	吉	佐			今	上	大
岡崎豊子	佐藤香苗	虫明好美	中村義太郎	笹尾正治	谷内伸自	森本忠平	吉岡真一	岡崎真一	今川佐智子	田中ますみ	大教会奥様	上原繁道	上原明勇	大教会長様	虫明立生	吉岡誠一郎	佐藤道孝	吉岡壽	今川昌彦	上原志郎	大教会長様
横山小智榮	中村初美	谷内美知子	中村道徳	中村邦義	高木昭祥	田林久嗣	山田敏教	森本忠善	高木孝子	門脇加津	上原順子	山野弘実	上原志郎	中村剛	武内清明	杉原博之	門脇元教	指図方	賛者		
岡崎和美	吉岡八恵	三島照美	内海史郎	横山逸郎	岡田誠	赤木素志	渡邊隆夫	佐藤真孝	山野悦子	室内正美	武原浩	上原昌彦	今川隆之	田中隆之	上原繁次	浅野明教	三島渉	上原明勇	浅野明教	横山逸郎	

立教181年 学生生徒修養会 高校卒業生コース

高校卒業生が進学や就職などそれぞれの道へと進むこの時期に、親神様の御教え、教祖のひながたを学び、同世代の繋がりを深めることは、その後の信仰生活の上で有意義なことです。卒業後、どのような環境においても、おちば、教会に繋がり、教えを拠り所とした生活を送ることができるよう、以下の要項で学生生徒修養会 高校卒業生コースを開催いたします。

募集要項

- 【名称】 立教181年 学生生徒修養会 高校卒業生コース
- 【主催】 天理教教会本部
- 【事務局】 天理教学生担当委員会
- 【期間】 平成30年3月10日(土)～12日(月) [2泊3日]
- 【受講対象】 ①平成29年度高等学校卒業予定者
※卒業後の進路は問いません。
※天理高等学校第1部、第2部、天理教学園高等学校の卒業予定者も受講可能です。
②全期間を通して受講できる者。
- 【定員】 400名
- 【受講御供】 3,000円
- 【内容】 講話、ねりあい、グループワーク、お楽しみ行事など
- 【集合日時】 3月10日(土)午前9時～9時30分
- 【解散日時】 3月12日(月)午後2時頃
- 【申込方法】 以下の書類を整え、最上級教会長を経て、学生担当委員会事務局に申し込んでください。
・受講願書 1通
・返信用封筒 1枚
(保護者氏名、住所、郵便番号を記入し、82円切手を貼ってください。)
- 【申込期間】 平成29年11月25日(土)～平成30年1月31日(水)
定員になり次第締め切らせていただきます。

※受講にあたっての詳細及び必要事項は、書面にて1月15日以降、随時保護者宛に郵送いたします。
※本人の意思を確認の上、お申し込みください。
※受講願書は学生担当委員会にあります。必要部数コピーでご利用ください。
Websiteでもダウンロードできます。 <http://tsa.tenrikyo.or.jp>



問い合わせ先

天理市守目堂町213-4 おやさとやかた真南棟3階 学生担当委員会事務局
 [郵便] 〒632-8790 天理郵便局私書箱1号
 [電話] 0743-63-2489 (学生担当委員会事務局直通) / [FAX] 0743-62-5780

立教181年

学生生徒修養会 大学の部

募集要項

- ▽ 期 間 …… 平成30年3月3日(土)～3月9日(金)
- ▽ 受講対象 …… ①平成30年1月8日現在、大学・短期大学・大学院・専門学校
高等専門学校(4年生以上)に在学している者。
②全期間を通して受講できる者。
- ▽ 募集人員 …… 700名(男子350名、女子350名)
- ▽ 内 容 …… 講義、グループワーク、にいがけ、ひのきん、修練(おつとめ勉強)など。
期間中に別席を1席運べる日を設けます。
- ▽ 集 合 …… 3月3日 正午～12時30分に指定された宿舎に集合してください。
- ▽ 解 散 …… 3月9日 午前10時頃、各宿舎にて
- ▽ 受講御供 …… 8,000円 詰所(直属学生担当委員会)に納めてください。

申し込み

- ▽ 申込方法 …… 下記の書類をととのえ、最上級教会長の署名捺印をいただいた後、
学生担当委員会事務局に申し込んでください。
・受講願書1通 ※特に学年の記入間違いのないようお願いいたします。
・返信用封筒1枚(郵便番号、住所、氏名を記入し、82円切手を貼ってください)
- ▽ 申込期間 …… 平成30年1月9日～2月26日
(事務処理の関係上、願書はなるべく2月15日までに提出してください)
- ※ 受講にあたっての詳細及び必要事項は、書面にて2月15日以降、随時本人に郵送いたします。
また、2月15日以降はTSA websiteでも詳細、必要事項が確認できますのでご利用ください。
- ※ 受講願書は学生担当委員会事務局、直属学生担当委員会、各教務支庁にあります。

問い合わせ先

天理市守目堂町213-4 おやさとやかた真南棟3階 学生担当委員会事務局
 《郵便》〒632-8790 天理郵便局私書箱1号
 《電話》0743-63-2489(学生担当委員会事務局直通) / FAX 0743-62-5780

十二月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいませ

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様の子供かわいい一条の親心溢れる御守護のままに日々結構に恙なく生活させて頂いております事は誠に有難い極みでございます 日々私共は御恩報じを念じてたすけ一条の御用の上に努め励ませて頂いております内に 早や立教百八十年の今年も後十日を残すのみとなりました 改めて今年一年を振り返って見ますと 教祖百四十年祭に向けて歩み出しの年と位置づけ 道を真摯に通る人材の育成を目標に 後継者講習会をはじめ人材育成講習会 父親講座 若人の集い等を開催させて頂くと共に 育成する方も成人を図るべく別席ひのきしん団参等を勤めさせて頂きました 残念ながらすぐには成果に結びつかない事もありましたが 先が楽しみな理作りをする事が出来ました事は誠に有難い限りでございます

本日は本年納めの月次祭を勤める日柄でございますので今年賜りました御守護の数々に御礼申し上げますと共に来年に繋げるべく反省の意も込めまして 只今よりおつとめ奉仕人一同喜び感謝の心一杯に 坐りづとめてをどりをつとめて十二月の月次祭を執り行わせて頂きます 御前には師走の慌ただしさ寒さを厭わず今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が 相共にお歌を唱和し同じ思いに伏し拝む状をご覧下さいませ 親神様にもお勇み下さいませ ようお願い申し上げます

さて来年は教祖百四十年祭に向けて歩み出し二年目であり 立教百八十四年に迎える笠岡創立百三十周年に向けて どう成人の歩みを進めて行くかを思索し決定してゆく大切な年でもあります 親神様教祖にお喜び頂き助けの上にお働き頂く為に先輩先生方はどう思索し何をしたのかよく考えようと共に 「温故知新」今おたすけの上は何が必要かも考えてたすけ一条の歩みを進めて行く覚悟でございます 又一月は大祭月でございますので直轄教会への大祭参拝をさせて頂き 一年間の成人の歩みについて相談をさせて頂く所存でございます

何卒親神様には 宗教でさえも自分に有利になるように利用する時勢にあつて 真摯に親心を求め親孝心一筋にたすけ一条に邁進する皆の誠真実の心をお受け取り下さいませ 万助けの上に向一層自由の御守護を賜ると共に 世界中の人々が心豊かな年末と心新たに清々しい新年を迎えられますよう御守護お導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

こころの詩

笠岡の教友が選ばれ掲載されてきましたので転載いたします。(敬称略)

▼『天理時報』

▽12月17日付「時報歌壇」

・海松ヶ岡◎ 池田広子さん

挽きたての珈琲の香につつまれて

夫は冷たき新聞開く

▽1月1日付「新春歌壇」

・海松ヶ岡◎ 藤井光子さん

お馴染みの頭でっかち福助の

新しき足袋元旦祭に

・東悠◎ 田林美智子さん

世の平和ひたすら祈り

よろづよの八首に勇む新たなる道

・芦品◎ 金谷眞佐代さん

ねぎらいと感謝の言葉ただいて

ますます勇む時報手配り

・海松ヶ岡◎ 池田広子さん

足音が聞こえてくるよ

新春の希望に満ちた足音がする

▼『陽気』誌1月号「道柳」より転載。

▽佳 詠

・東悠◎ 田林美智子さん

明けやらぬみ空の彼方神をみる

▼表紙写真

(上原喜三かさおか編集部員)

大教会だより

◎第九一八期修養科

自 立教180年10月1日
至 立教180年12月27日

*教養掛

一ヶ月目 横山逸郎
(大教会准承事)

東城分教会長

三代信行

(米美分教会長)

二ヶ月目 武内正美
(大教会幹部承事)

高屋分教会長

藤井治喜

(福節分教会長)

三ヶ月目 中島誠治
(大教会承事)

鶴山分教会長

谷内秀自

(輝美濃分教会長)

*修了者

府中市 坂井幸生

三郡 谷本洋一

多古浦 余村玲

吉舎 西村美乃

◎本部食堂ひのきしん

自 立教181年1月5日
至 立教181年1月15日
新山邑 三島美保子

◎立教181年春季大祭参拝

皆	新	輝	照	吸	東	海	呉	芳	陶	興	金	摩	陽	弥	鶴	久	島	神	高	福
山	山	美	陽	江	悠	松	照	井	山	明	浦	耶	備	高	山	山	根	邊	屋	山
部	邑	濃	陽	江	岡	ヶ	岡	井	山	と	浦	耶	備	山	山	田	田	大	上	佐
上	大	武	大	中	武	大	大	武	上	上	吉	大	中	門	田	吉	田	大	原	藤
原	教	内	教	村	内	教	教	内	原	原	岡	教	村	脇	中	岡	中	教	繁	道
明	会	正	会	邦	正	会	会	正	繁	繁	長	会	元	元	隆	隆	隆	会	道	道
勇	奥	美	長	義	美	長	長	美	道	道	壽	長	剛	教	之	壽	之	長	繁	孝
	様	様	様	様	様	様	様	様	勇	道	道	様	剛	教	之	壽	之	道	道	孝



明	上	府	東	服	島	驛	油	葦	湯	備	神	美	錦
石	中	中	城	部	中	家	木	陽	原	中	昭	之	備
市	市	市	田	中	田	中	門	上	佐	上	吉	郷	中
大	上	門	田	中	中	村	脇	原	藤	原	岡	佐	村
教	原	脇	元	隆	隆	隆	元	明	道	道	繁	藤	道
会	明	元	之	義	之	之	教	勇	孝	道	道	道	剛
奥	勇	教	教	之	之	剛	剛	教	剛	道	道	道	剛
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

今日は新年の1月2日。えっ！もう元日は終わったの！と言ってはいけない。そういう日々を送ればあつという間に酔生夢死になるよ。これは私自身に言っている。〃夢見たように散るやしれんで〃だな。言い訳をしよう。元日は実に千客万来、私は御神酒を注いで実に忙しいのだ。また神社のおみくじより有難い(すみません)御神言の

おふでさきをそれぞれに引いてもらう。その解説にまた忙しいのだ。30人近くになる。私も元旦祭を勤めた後におふでさきを引く。それを新しい日記の1頁目に貼り付けて今年の指針にする。事ある毎にそれを見る……。不思議だなあ、実に的確に指導してくださる。このことは私だけではない、引かれた皆さんが仰ることだ。今年引いたおふでさきは……いや、これを書くにご守護がないような気がする、私だけの守る言葉だ。年を取って守るものが少なくなつた。子どもも大きくなつて私の守りを必要としなくなつたようだ。反対に守られているような気がする。4才の孫でさえ「じいじ、ありがとう」と言つて労りの言葉が……。女房を守っていたのが今は完全に守られている。ああ！私は皆に守られているのか？その上に御神言がある！よしつ、今年はやるしかないよ。(ひ)



	昭和57年 (1982年)	立教145年
<p>1. 22 三代会長・本部長上原繁雄出直(九十歳)</p> <p>1. 24 真柱様斎斎のもと三代会長上原繁雄告別式(八十三母屋)</p> <p>1. 26 宇津戸分教会三代会長井上モヨ任命(二代会長山下勲 昭和五十七年十月二十一日出直)</p> <p>就任奉告祭：三月三日</p> <p>2. 8 大教会史編纂常任委員会(この年二十六回開催)</p> <p>2. 23 三代会長五十日祭(八十三母屋)</p> <p>3. 21 教祖百年祭布教推進隊研修会</p> <p>3. 22 三代会長合祀祭(大教会祖霊殿)</p>	<p>この年、前年の論議第三号の発布を受けて本部では三年千日決起の集いが開催また直属教会長夫妻の講習会が開催されるなど教祖百年祭への活動が徐々に盛り上がりを見せた年であった。昨年百万人を突破したよふぼく総教は更に増加、大教会よふぼく総教も一万人に迫る布教活動の活発化の感じられる年であった。また福山、高屋、神邊の各分教会で、創立九十周年記念祭が執り行われた。</p> <p>この年の大教会年間統計 初席者五百三十六人 おさげの理拝戴者二百八十六人 修養科修了者百四十五人 教人登録者六十八人 教人総数二千九百九十五人 よふぼく総数九千六百九十一人。全教よふぼく総数百万九千五百五十九人。</p>	<p>9. 26 真府分教会恒例祭日変更(毎月十三日→九日)</p> <p>9. 26 神邊分教会恒例祭日変更(毎月十八日→十六日)</p> <p>9. 26 上下分教会恒例祭日変更(毎月十六日→十四日)</p> <p>9. 9 立教百四十五年下半年布教実修会(十二月まで)</p> <p>10. 17 高屋分教会創立九十周年記念祭執行</p> <p>10. 25 修養科修了者決起の集い(第八三母屋)</p> <p>10. 26 本部で教祖百年祭三年千日決起の集い開催</p> <p>10. 28 本部で教祖百年祭直属教会長夫妻講習会開催</p> <p>10. 30 布教所長成人講習会(百三十八人)</p> <p>11. 23 神邊分教会創立九十周年記念祭執行</p> <p>11. 26 米美分教会親神様・教祖・お社取替及建築様様並附属建物増築</p> <p>鎮座祭：十二月五日</p> <p>奉告祭：十二月六日</p> <p>11. 28 青年会部属分会委員長研修会(五四人)</p>
<p>1. 22 三代会長・本部長上原繁雄出直(九十歳)</p> <p>1. 24 真柱様斎斎のもと三代会長上原繁雄告別式(八十三母屋)</p> <p>1. 26 宇津戸分教会三代会長井上モヨ任命(二代会長山下勲 昭和五十七年十月二十一日出直)</p> <p>就任奉告祭：三月三日</p> <p>2. 8 大教会史編纂常任委員会(この年二十六回開催)</p> <p>2. 23 三代会長五十日祭(八十三母屋)</p> <p>3. 21 教祖百年祭布教推進隊研修会</p> <p>3. 22 三代会長合祀祭(大教会祖霊殿)</p>	<p>この年、前年の論議第三号の発布を受けて本部では三年千日決起の集いが開催また直属教会長夫妻の講習会が開催されるなど教祖百年祭への活動が徐々に盛り上がりを見せた年であった。昨年百万人を突破したよふぼく総教は更に増加、大教会よふぼく総教も一万人に迫る布教活動の活発化の感じられる年であった。また福山、高屋、神邊の各分教会で、創立九十周年記念祭が執り行われた。</p> <p>この年の大教会年間統計 初席者五百三十六人 おさげの理拝戴者二百八十六人 修養科修了者百四十五人 教人登録者六十八人 教人総数二千九百九十五人 よふぼく総数九千六百九十一人。全教よふぼく総数百万九千五百五十九人。</p>	<p>9. 26 真府分教会恒例祭日変更(毎月十三日→九日)</p> <p>9. 26 神邊分教会恒例祭日変更(毎月十八日→十六日)</p> <p>9. 26 上下分教会恒例祭日変更(毎月十六日→十四日)</p> <p>9. 9 立教百四十五年下半年布教実修会(十二月まで)</p> <p>10. 17 高屋分教会創立九十周年記念祭執行</p> <p>10. 25 修養科修了者決起の集い(第八三母屋)</p> <p>10. 26 本部で教祖百年祭三年千日決起の集い開催</p> <p>10. 28 本部で教祖百年祭直属教会長夫妻講習会開催</p> <p>10. 30 布教所長成人講習会(百三十八人)</p> <p>11. 23 神邊分教会創立九十周年記念祭執行</p> <p>11. 26 米美分教会親神様・教祖・お社取替及建築様様並附属建物増築</p> <p>鎮座祭：十二月五日</p> <p>奉告祭：十二月六日</p> <p>11. 28 青年会部属分会委員長研修会(五四人)</p>